

令和元年9月5日

都内私立中学高等学校

校長  
国際理解教育担当教諭  
英語科教諭 殿  
社会科教諭  
総合的な学習の時間担当教諭  
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会  
会長 近藤 彰郎  
東京私学教育研究所長 須藤 勉  
国際理解教育研究会委員長 金谷 三枝子  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

## 国際理解教育研究会「講演会」のご案内 『今なぜ課題研究が必要なのか？ —その意義と指導方法』

処暑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

先生方におかれましては学習指導要領改定に伴い、「主体的・対話的で深い学び」という観点から、各学校のカリキュラムの中で模索をされながら課題研究に取り組まれていることと存じます。

この度、本研究会では、『課題研究メソッド—より良い探究活動のために—』(2016年新興出版社啓林館)の執筆者である岡本尚也<sup>おかもと なおや</sup>氏より、課題研究の意義や指導法について拝聴する機会を得ました。講演後には、岡本氏を囲んで、各校の取り組み等について参加者同士意見交換をしながら、お互いの学びを深めていきます。

学習者が主体的に課題設定を行い、現状分析をし、課題解決の方法を探ることは、異なる文化の相違点や共通点を見出しながら共生を図ってゆく国際理解教育にも通じます。今後の各学校での「探究学習」指導に生かしていただける会になると思います。

社会の変化に柔軟に対応できる生徒を養成していくための学びは、教科に関わらず先生方の大変参考になることと存じますので、お誘い合わせのうえ是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和元年11月8日(金) 18:00 ~ 20:00 (受付17:30~)
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室 ※裏面案内図をご参照ください
3. 研修内容

I. 講演『今なぜ課題研究が必要なのか？ —その意義と指導方法』  
II. ワークショップ ~課題研究メソッドを実際の現場で生かすために~

4. 講 師 <sup>おかもと なおや</sup>岡本 尚也 氏



物理学者・社会起業家

1984年鹿児島県に生まれる。慶應義塾大学工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学にて物理学博士号を取得。その後、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果がNature Materials等、世界トップジャーナルに論文が掲載された。帰国後、NPO法人を創業し、現在は一般社団法人Glocal Academy代表理事。社会や学術における諸課題を研究的手法を用いて解決する事を目的とし、後進の育成やそれら課題に取り組む個人及び企業・団体を支援している。主な著作物：課題研究メソッド(啓林館)、英国流創造と学びの技法(東洋経済オンライン)等。

5. 定員 50名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
6. 参加費 無料 (当協会会員各校の拠出金と (公財) 東京都私学財団からの補助金で運営しております)
7. 申込方法 11月1日 (金) までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)



東京私学教育研究所 国際理解教育研究会 担当：並木・中島  
TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

<会場案内図>



千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921 (代)

■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線  
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線  
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

国際理解教育研究会「講演会」参加申込書【 11月8日 (金) 実施 】

学 校 名	氏 名 (ふりがな)	担当教科
<p>★課題研究の指導において、日頃取り組んでいること・感じていること・お悩みのこと等をお書きください。 (「Ⅱ. ワークショップ」の運営に活かしたいと考えておりますので是非ご記入をお願いいたします。)</p>		

上記の通り申し込みます。

東京私学教育研究所 御中

令和元年 月 日

校 長 印

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)  
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------